



上野口小だより

No.4

令和2年5月11日
門真市立上野口小学校
Tel 072-882-0882



↑上野口小HP

発行責任者：
校長 荻谷 規嗣

いま、自分にできることは

子どもたちのにぎわう声が途絶えて、2ヶ月が過ぎました。当たり前だと思っていたことが実は当たり前ではなかったことを、あらゆる場面で痛感する毎日です。

児童クラブや預かりで来ている子どもたちの声が、時折運動場や廊下から聞こえてくると、温かい気持ちになります。そして、ここへ来ていない子どもたちがどんな日々を過ごしているのかを案じています。

この休業中は、週1回、職員がご家庭を回らせていただいています。そこで子どもたちの表情や声を確認できたという職員は、一様に安堵しています。

児童や保護者の皆様には、学校の動きが見えづらいところでご心配をおかけしております。再開に向けた諸々の準備のなかでも、「教室に集まった子どもたち」の姿をイメージできないままの授業準備は、想像以上に困難でした。授業とは、児童と教師による「ライブ」感（生身のやりとり）に支えられるもの——これも「当たり前」と思っていたものの一つとして、再開後はいつそう大切にしなければと感じています。同時に、こうした形にとどまらないさまざまな授業方法の可能性を考えていく契機ともなっています。

コロナの陰に隠れてしまっていますが、今年度から、小学校では新しい指導要領に基づく教育課程が本格実施されることになっています。予測不可能な社会を生き抜くために、「自力で課題を見つけ、自分には何ができるかを考える」「他者と協力しながら問題解決にあたる」「あふれる情報を、その真偽を見極め適切に取捨選択・整理しながら活用する」といった力を培っていくことを新しい指導要領ではめざしています。

これらは目新しいことではありませんが、皮肉にも目下の社会情勢によって、その大切さが改めて問われていると感じます。

いま、この苦境から完全に逃れることができる人は、世界中のどこにもいません。そのためのお手本もありません。だからこそ、できるだけ多くの人とつながり、知恵を出し合い、乗り越えるために自分なら何ができるかを考え続けること。そのために必要な情報を貪欲に追求しながらも、情報にのまれないよう、さまざまな切り口から物事を見つめる眼を持つことが必要でしょう。

このような不安と背中合わせのなかにあっても、世の中を前に進めようと必死に取り組む人もたくさんいます。職種や規模を問わず、生活の質を上げ、豊かにするために多くの方々の力があります。生活上の厳しい制約を受け入れ、耐え忍ぶ人々がいます。寝食を忘れて新たなサービスの構築に駆け回る人々がいます。それぞれに、自分の置かれている立場でできることを探し、自覚し、前進しようと社会が動いています。

こんなときに大人がどうふるまうのかを、子どもたちは実によく見て学びます。その学びが、未来の彼らをつくります。足を引っ張りあう、自分や身内さえいい思いができればよい、人を徹

底して責め立てる・・・他人に冷たい社会で、子どもたちが生きていってほしいとは思いません。他人に冷たいとは、ひるがえって、他人から自分が冷たく突き放されるおそれもあることを意味します。現在の大人の姿と、未来の子どもたちの姿はつながっていることを、肝に銘じたいです。

幸い、多くの人々の努力により、明るい兆しも少しずつ見えてきています。誰もが大切な社会の一員です。「感染症との共存」がこれからのテーマとなりつつあります。学校が再開しても、油断せず、自分がその時々でできることは何かを子どもたちと考えていきたいと思えます。

以下は、来るべき再開の日に向けて、子どもたちの不安にどう寄り添い、どんなメッセージを伝えるかを共有したいと思い、私が職員に提起したものの一部です。速効性はないかもしれませんが、①信頼できる情報を子どもにはっきり伝えること、②実際に児童と一緒に予防法を実践して見せること、を積み重ねながら、子どもたちの不安を徐々に取り除くことができればと考えています。

- ・ コロナウイルスはまだわからないことがたくさんあるからこそ、みんなで予防に取り組まなければならない。そうすれば「どんな方法や環境が予防に効果的か」がわかってきて、コロナ感染症にかかりにくい環境を広げることができる。
- ・ ウイルスに効く薬やワクチンを、医療従事者（医師、看護師、薬剤師）や研究者が、自分の命をかけて多くの患者と向き合いながら一生懸命考えてくれている。いまは、自分にできる予防法を続けること。
- ・ コロナウイルスについて不安に思っている人はたくさんいる。冗談でも「うつしてやる」「近寄るな」など、人の不安をあおったり傷つけたりするようなことは言ってはならない。

今後の予定について

- * 別紙『登校日について』のとおり登校日を始めます。
- * 今年度のプール指導は中止。
- * 2学期の行事实施は未定。運動会は、午前中で終了できる内容に縮小する方向で検討中。
- * 6年の全国学力・学習状況調査は中止。3～5年生の門真市学力到達度調査は延期。今後の学習進捗で判断。
- * 健康診断等、保健にかかわる取組みは延期。
- * 諸費引落としを6月5日（金）に行います。金額等、詳細は後日改めてご案内いたします。